

2018 年 1 月 30 日

## 助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人むさしむらやま子ども劇場...  
代表者・役職名 氏名.....理事長.....佐藤 哲子.....

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

「市民活動ナビ」作成プロジェクト

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1993年4月立川子ども劇場から独立、2004年8月特定非営利活動法人の認証を受け、子育てに関する自主活動そして市内の他団体や行政、商店会といっしょにイベントや遊びの会、地域こども教室などを実施し地域の子どもたちのための活動を会員数20名で続けています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

少子高齢化・高度情報化など、社会を取り巻く環境も大きく変化し、それに伴い地域の課題や行政に対するニーズも変容してきています。同時に、地方分権が進められ、これまで国や都道府県単位で行われていた事業を、基礎的自治体である市町村が、より地域の実情にあったかたちで運営することが期待されています。

しかし、公平性を原則とする行政の画一的なサービスだけでは、これらの変化すべてに対応することは難しく、一方地域に目を向ければ、NPO、ボランティア団体や地縁組織の活動が活発化しており、市民と行政が協働し、ともに地域を支えていくことがますます重要になっています。そこで市民がより自発的に活動していくために「人・モノ・金・情報」の中で最初に必要になる情報を取りまとめる冊子がどうしても必要と考えました。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

5月21日の第2回元気フェスタ!!の参加団体パネルの情報を取りまとめて冊子にしました。「市民活動ナビ」として、市民活動の基礎知識といった読み物のページも加えました。参加予定団体72の団体・企業の紹介の各1ページと合わせ、A4サイズ86ページの冊子として1,000部製作し、武蔵村山市ボランティア・市民活動センターの窓口で頒布するほか、市内の各公共施設などでも市民へ配りました。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

行政や市民からの「もっと部数が欲しい」といった声や「とても良いものが出来た」「自分たちの団体も次回に掲載したい」などの引き合いがとても多い。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

できるだけ、情報を更新していきたいので、地域企業と協力して新しい版を発行していきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし